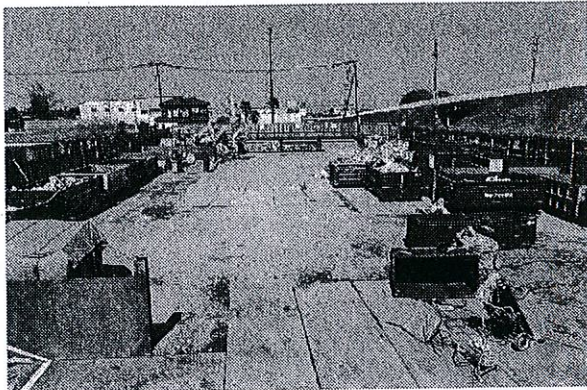


(5) 2015年(平成27年)3月23日(月曜日)

積替保管施設リニューアル

カワサキ商会グループ

年間10億円目指す



リニューアルした積替保管施設

建設廃棄物の収集運搬を手掛けるカワサキ商会(千葉県市川市、川崎秀樹会長、☎047・369・6126)

は3月12日、100%子会社である江戸川電機製作所(埼玉県春日部市、渋谷光博社長、☎048・746・4988)

買収、グループ化した。積替保管施設で取り扱う産廃は、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)、陶磁器くず、がれき類の8種類。所在地は春日部市内で面積は1874平方メートル。

同社は収集運搬だけでなく、建設業者、中間処理業者を対象としたコンサルティンクに力を入れている。会長自身、産廃業20年を超えるベテラン。昨年、江戸川電機製作所を

ワークがある。川崎会長は「建設会社、処理業者の困りごとを解決するお手伝いを担うため複数の処分場をつなぐ商社的役割を果たしている」と述べている。

現在、年間売り上げはカワサキ商会4億5000万円、江戸川電機製作所1億2000万円、総合コンサルティンク会社のカワサキ総合研究所などグループ全体では約7億円に上る。今後グループ全体で年間10億円を目指している。

建設系